

新留学生オリエンテーションのあり方

—山口大学における新留学生研修会を事例として—

杉原道子

要旨

平成14年4月に山口大学留学生センターが設置され、その年の10月から留学生フレッシュマン・セミナー（後に新留学生研修会と改名）を開催し、プログラムの改良を重ねながら新たに渡日する留学生の入学時期に合わせて年2回（4月と10月）平成20年度まで実施してきた。この研修会の特色は二つあり、一つは1泊2日の宿泊研修であること、もう一つは地域の協力を得て行われていることである。

渡日後、間もない時期に行われる大学と地域の連携による宿泊を伴うオリエンテーションは日本固有の生活文化体験を可能にし、留学生の生活の質（Quality of Life）を高める上で、極めて有用であることが立証できた。

キーワード

新留学生研修会, 留学生交流ボランティア, 情報提供, 地域の行政機関との連携, 大学の国際化

1 はじめに

山口大学留学生センターでは、渡日後早い時期に新留学生が生活に必要な情報を得、かつ教職員・日本人ボランティア学生・先輩留学生との人的ネットワークの構築を目的として新留学生研修会（1泊2日）を「国立山口徳地青少年自然の家」で実施している。

横田・白土（2004）は「異なる文化を背景にもつ人々を成員として迎え入れる場合、彼らができるだけ早く新しい環境に適応し、もてる能力をいち早く発揮できるようにオリエンテーションが行われる」（p. 78）と記し、「入学直後の留学生にとっては、オリエンテーションはまさに大学の第一印象を決めるものと言っても過言ではない」（p. 77）と大学における入学直後のオリエンテーションの重要性を指摘している。

世界各地の異なる文化圏から初めて渡日する留学生にどのようなオリエンテーションを

行うかは極めて重要な課題である。これまで山口大学留学生センターで実施してきた新留学生研修会の成果を振り返り、今後の課題について考察する。

2 新留学生研修会の参加者

このプログラムは新留学生の他に、日本人の留学生交流ボランティア学生、先輩留学生、留学生センターの教職員が参加している。表1は平成14年10月から平成20年4月までの新留学生研修会の参加者数である。平成14年は留学生センター設置直後で、後期の実施であったため10月の参加者が多くなっている。また、前期は後期に比べ入学者数が多いため参加者も多い。前期はアジア圏の学部生が多いが、後期は欧米系の短期語学研修生や研究生が多い。発足当初は新留学生の80%程度の参加率であったが、最近ではこの研修会についての情報が新留学生留学生の間

表1 新留学生研修会の参加者数

年 度	留学生	ボランティア学生	先輩留学生	教職員	合 計
H14年度10月	70	7	0	10	87
H15年度5月	30	7	0	7	44
H15年度10月	25	5	3	12	45
H16年度4月	47	7	0	13	67
H16年度10月	35	13	4	11	63
H17年度4月	44	10	5	12	71
H17年度10月	31	5	2	13	51
H18年度4月	65	3	5	11	83
H18年度10月	41	5	2	12	60
H19年度4月	63	7	7	10	87
H19年度10月	53	7	7	9	76
H20年度4月	54	6	6	14	80

で周知されるようになり、病気または、単身で幼児を抱えて、やむを得ず参加できない新留学生を除いて、ほぼ全員が自主的に参加するようになった。

3 新留学生研修会の目的

新留学生研修会の目的はプログラムに下記の5項目が記されている。

新留学生研修会

Orientation for New International Students

目的 (Aims)

- ① 留学生センターの授業や行事を理解する。
(To understand the Japanese language courses and events which are offered by the international student center.)
- ② 留学生生活上必要な手続きについて理解する。
(To understand how to fill in the necessary forms for international student life)
- ③ 社会生活のルールを知る。
(To understand the rules of society in your daily life .)
- ④ 大学生活における勉学・研究について先

輩の話を聞き、意見交換を行う。

(To exchange opinions about your study or research with more experienced overseas students)

- ⑤ 親睦を深め、友情を育む。

(To foster friendship between the foreign students and Japanese students.)

4 新留学生研修会のプログラム

参加者全員にプログラムの日程表、参加者名、グループ分け、「国立山口徳地青少年自然の家」の地図等を記載した冊子を配布する。留学生センターの教員が順番にプログラムコーディネーターとなり、毎回新たな試みが実施され、プログラムが見直される。国立山口徳地青少年自然の家で11回実施したが、萩で1回開催したこともある。資料1は平成20年4月21日(土)と22(日)に実施したプログラムである。

新留学生の日本語のレベルがまちまちであるため、情報提供のためのプログラムでは英語圏グループ、韓国語グループ、中国語グループに分けて着席させ、通訳が必要な学生のとおりには先輩留学生や教員が座り、逐次通訳をするなどの工夫をしている。このプロ

グラムの特色は大学生活に必要な情報を与えるだけでなく、地域の協力を得て社会生活に必要な情報を提供することである。同時に新留学生の人的ネットワークの構築も重要な課題としている。

次に目的別にプログラム内容を検証する。

4.1 目的1 留学生センターの授業や行事を理解する

吉田キャンパスと宇部キャンパスで開講されている留学生センターの日本語授業また経済学部や教育学部で独自に開講されている日本語の授業科目とその内容やレベルについて説明する。留学生は誰でも参加できることを知らせ、多くの留学生の参加を募っている。また、学内で行われる文化体験プログラム（書道、華道、茶道）の紹介や地域で開催されるボランティア団体主催のりんご狩り、お花見会、食事会等の行事を紹介する。

4.2 目的2 留学生生活上必要な手続きを理解する

毎年留学生課が作成し、配布している『外国人留学生ガイドブック』を使って留学生課の職員が説明する。『外国人留学生ガイドブック』は日本語（ルビつき）に英語と中国語の訳がある。外国人登録、在留手続き（再入国許可申請等）、国民健康保険、外国人留学生医療費保証制度、留学生住宅総合保障制度、資格外活動等について説明する。特に資格外活動については、希望する留学生が多いため、アルバイトの内容や時間制限について詳しく説明している。使用される語彙や文型が難しいため、パワーポイントにも英語と中国語を併記している。

4.3.1 交通ルール

山口県警察本部交通企画課による「交通ルール」の講習ではビデオやパワーポイントが使用され、実際の交通事故現場の映像が紹

介されるので臨場感がある。特に大学周辺で多発する交通事故現場の映像には留学生は食い入るように画面を見ている。

自転車や自動二輪の乗り方に関する交通ルールの説明もあった。

4.3.2 防犯問題

H19年度後期から始めたプログラムである。山口県警で作成された『POLICE ACTIVITIES HANDBOOK』（日本語・英語・中国語・韓国語）が配布される。内容は
1. 交通事故防止のために、2. その他の警察業務（犯罪の被害にあったとき、遺失および拾得届け、巡回連絡、職務質問）3. 警察への連絡方法（110番通報内容、外国人運転免許証の切り替え、交通事故証明書の申請方法）などが記載されている。山口大学は吉田キャンパスと宇部キャンパスに分かれているため2箇所の大学周辺の警察所の所在地と電話番号が記載されている。

4.3.3 ゴミ問題

山口市環境部ゴミ対策課の2名の職員の協力で行われる。机の上にゴミの実物を分別して並べ、実演を見ながら説明を聞くため日本語が充分に分らない留学生でも理解できる。実演後、留学生は菓子箱を渡され、材質を見極めながら分別の練習をする。素材により丁寧に細かく分けることに驚き、参加した中国留学生は「ゴミの分別をみんなが理解し、守っているから本当に日本の街はきれいだと思います」、ゴミが放置されていない理由を納得し、「帰国したら、ゴミ分別の運動をぜひ中国でも進めたい」と述べていた

4.4 目的4 大学生活における勉学・研究について先輩の話を聞き、意見交換を行う。

4.4.1 先輩留学生の話を聞く

学部から推薦された先輩留学生在がパネラーとなり、来日後直面した問題をどのように乗り越えたかについて後輩にアドバイスにすることが多い。日本語をどのように勉強したか、指導教官との付き合い方、アルバイトと勉強の両立、クラブ活動、地域の交流行事への参加等、先輩留学生はさまざまな体験を通して日本固有の生活文化体験をどのように受け止めてきたかについて述べた後、質疑応答を行う

4.4.2 学部別グループディスカッション

学部ごとに新留学生・教職員・先輩留学生・留学生交流ボランティアが分れ、共有する問題についてディスカッションを行う。新留学生は専門の勉強についてより詳しく疑問や不安な点について質問をする。各学部において、留学生同士が顔見知りになり、将来にわたって情報交換ができるように配慮している。

4.5 目的5 親睦を深め、友情を育む

4.5.1 ディスクゴルフ

1チーム10名程度の留学生・留学生交流ボランティア・先輩留学生・教職員が一緒になり、野外でディスクゴルフというスポーツを楽しむ。ルールはゴルフと似ているが、ゴルフクラブの代りにフレスビーを使い、コースごとに決められた回数でバスケットにフレスビーを入れる。全員の合計点が少ないチームが優勝する。

4.5.2 インターナショナル・ナイト

インターナショナルナイトは留学生を含めた留学生交流ボランティアが主体的に企画するもので、各国の歌や踊りや楽器演奏などが披露される。

4.5.3 ハイキング(重源の郷)

重源の郷は昭和初期の山村風景を再現した

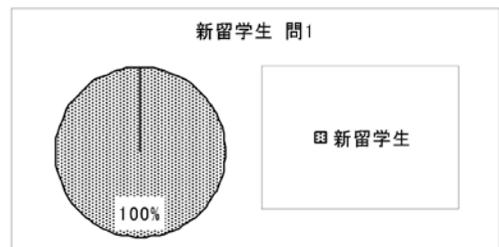
郷で、徳地の豊かな自然や特色ある歴史、文化に触れることができる。

5 宿泊施設と食事

「国立山口徳地青少年自然の家」へは宇部キャンパスと吉田キャンパスから貸し切りバスを利用している。シーツ代や食事代は必要であるが、国立の施設であるため宿泊費や施設利用費は不要である。男女別に大きな部屋に全員が一緒に寝泊りする。食事はビュッフェスタイルであるため、各自が好みのものを、好きなだけ食べることができる。また、イスラムの学生のためにあらかじめ打ち合わせを行い、肉料理の代わりに魚料理を人数分だけ用意してもらい、ハラールフードコーナーを設けているため、イスラムの学生も安心して食事をするすることができる。

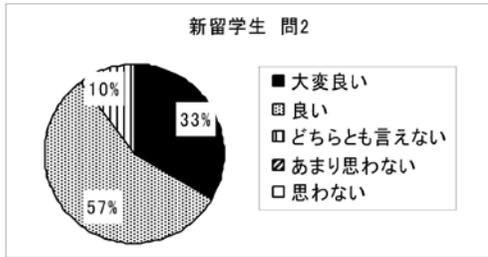
6 参加者の感想

プログラムの終了後、参加者へのアンケート調査を行っている。資料ⅢはH20年前期に使用したアンケートで、新留学生、教職員、先輩留学生、留学生交流ボランティアにアンケートを行ったが、紙面の都合上、新留学生48名分のアンケートの分析結果と意見を下記に記す。



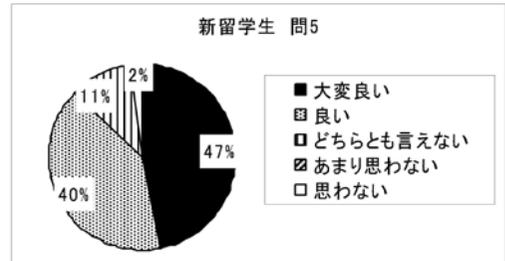
問1 あなたは? What type of student are you?

- 1) 新留学生 New international student.
- 2) 日本人学生 Japanese student.
- 3) 先輩留学生 Senior international student.
- 4) 教職員 Staff.



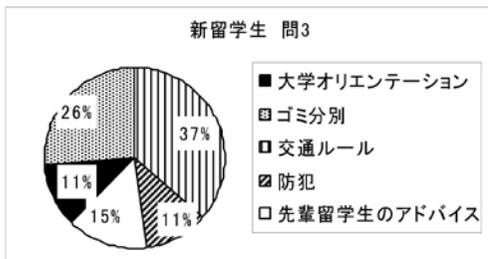
問2 この新留学生研修会は良かったと思いますか。Was the orientation good?

- ・大変良いと良いで90%
- ・あまり思わないと思わないが0%



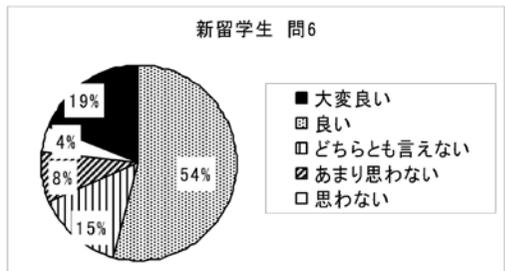
問5 この研修会の実施場所は良かったと思いますか？Was the location/place of the orientation good?

- ・大変良いと良いで87%
- ・思わないが2%



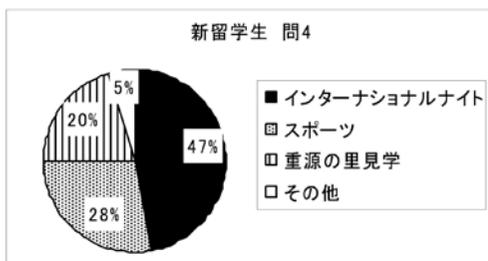
問3 研修会で役に立ったプログラムは何ですか？What information was useful ?

- ・1 交通ルール
- ・2 ゴミ分別
- ・3 先輩留学生のアドバイス



問6 この研修の実施時期は良かったと思いますか？How was the schedule? (time of year, date, times, etc.)

- ・大変良いと良いで73%
- ・あまり思わないと思わないが12%



問4 研修会で楽しかったプログラム何ですか？What events were enjoyable?

- ・1 インターナショナルナイト
- ・2 スポーツ
- ・3 重源の郷見学

各問いに関する答えは次のようなものである。

問2 この留学生研修会は良かったと思いますか。

- ①今まで他の留学生と話し合う機会があまりなかったので、今日留学生と遊んだり、話したりしたことがとても楽しかった (15)
- ②イベントが楽しい (12)
- ③日本で生活する上での大切な情報が得られた (8)
- ④ご飯がおいしい (7)
- ⑤他の国の文化を知り、交流できた (5)

問3. 研修会で役に立ったプログラムは何ですか。

- ①私は自転車で大学に行くが、規則はあまり知らなかった。自転車のルールがDVDが良かった (13)
- ②いろいろな予想外の危険な事故発生の経過を教えてくださいました。交通ルールが分かったので、身を守ることができる (自国との違いが分った) (4)
- ③例を見せてもらって、ゴミ分別の仕方が分った。家主さんから注意されていた (7)
- ④先輩留学生アドバイス (6)
- ⑤日常生活に役に立つ (6)

問4. 研修会で楽しかったプログラムは何ですか。

- ①インターナショナルナイトが楽しかった。他の国の文化を知ることができたこと。ダンスが楽しかった。みんなのパフォーマンスが面白かった。インターナショナルナイトは外ですると良い (21)
- ②ディスクゴルフのコースがきれいで、楽しかった。スポーツの種類がいろいろあるのもっと楽しくなる。 (5)
- ③日本の伝統的な村を見ることができた。 (2)

問5. この研修会の実施場所は良かったと思いますか。

- ①素敵な景色の中で、自然にたっぷりふれられた。空気が新鮮でいいところです (20)
- ②部屋がきれいでした (2)
- ③少し寒かった (2)
- ④施設が不便ではなかった。 (1)
- ⑤ずっとベッドを使ってきましたので、初めてたたみを使うと適応できなかった (1)
- ⑥ちょっと遠い (1)
- ⑦遊ぶ道具が少ない (1)

問6. この研修会の実施時期は良かったです

か。

- ①もっと早いほうが良いです。学校が始まる前のほうが良い (6)
- ②いいと思う (あまり忙しくない) (4)
- ③少し寒かったので、遅いほうが良い。夏とか今の時期より遅ければいいと思います。 (3)
- ④特にいつ行ってもいいと思う (2)

過去12回の報告書で記された主な感想を記す。

【肯定的な感想】

*リラックスした雰囲気の中で、各種の交流ができ、日本に来てからの孤独感が消えた。自信と力がわいてきた。自然があつてとてもきれいなところだった。

*先輩たちが日本語を上手に話せることを知っておどろいた。彼らは、日本語学習が困難ではないことの証明になる。

*ゴミ分別、交通ルール、防犯などの勉強を通して、日本は安全と秩序を重視している国だと感じている。このプログラムに参加していろいろな人と知り合つて、自分の視野を広げてとても楽しんだ。そしてこの静かで美しい「自然の家」に一泊して嬉しかった。

*新留学生にとってオリエンテーションはとても大切だ。日本についていろいろな情報が得られるので。

*新しいともだちができました。質問や相談があるとき、どこで、誰にきけばいいかわかりました。

*一つの部屋に25人分の寝床をどう作るか学びました。プログラムは大変すばらしく、来年以降の留学生のために続けたらいいと思います。

*お祈りの時間があつてよかった。

*先輩留学生と日本人のボランティア学生に会えた事。

*日本に4年居るが、ゴミ分別について聞いたことがなかったので、良かった

*先生方と世話をしてくださった人の優しさ
と親切なこと。

*ゴミを持ち帰り，公共施設を美しく，いい
環境を保つこと。

*今回のプログラムで僕は交通ルールとゴミ
の分類についていろんな日常生活に使える
ような知識を身につけました。これが非常に大
切な経験だと思います。

*いろいろ知らないことがわかってよかつ
た。他の留学生と一緒に食べ，寝，遊んで楽
しかった。

【新留学生から要望された内容】

*時間がじゅうぶんでなかったので多くの
人と話せなくて残念だった。

*プログラムはよく計画され，情報量は充
分だったが，言葉の壁があり，退屈で取り
残されたと感じた。英語での詳細な訳が必
要である。（原文は英語）

*説明がちょっと長すぎた。

*お酒がなかったから，さみしかった

【もっと聞きたかった情報】

大学院入試，ホームステイ，アルバイト，
経済的なこと，山口周辺の文化的・歴史的
な場所，ボランティア，サークル，日本
人について，オーバーステイに関する相
談，

7 考察

入学直後のオリエンテーションでは新留
学生が異文化の地にあつて孤立感や不安感
から開放され，暖かく迎え入れられたこと
を実感できる場であることが望ましい。こ
れまでの研修会の成果や問題点を考察す
る。

7.1 宿泊研修の意義と波及効果

(1) 寝食を共にする宿泊研修であるた
めに，日本の生活文化を実体験させること
ができる。日本には古くから「同じ釜の飯
を食う」ということわざがあり，食事を
共にすることにより，より親密な人間
関係が作れると言われてきた。まして，
食文化が異なる国の留学

生との食生活に関する情報交換は極めて
重要である。筆者は自らの経験から，日
本の食文化に慣れさせることが，日本へ
の適応の第一歩であると考えている。ま
た参加者全員がイスラム教徒の食事に関
する決まりを知り，研修会がラマダン中
になることもあり，イスラム教徒への理
解を深めることができた。

また，新留学生は日本人ボランティア
学生から布団の引き方や入浴の仕方など
を習い，日本人の生活スタイルを徐々に
体得することができた。重野（2006）は
「留学生の場合日本社会という欧米とは
異なる異文化への適応という大きな壁を
乗り越える必要がある」と延べている。

(2) 宿泊研修は朝から晩まで一日を有
効に使うことができ，夕食後に行われる
インターナショナルナイトは異文化理解
を深めるために効果的なプログラムであ
る。各自の個性が発揮され，自ら進ん
で，歌を歌ったり，踊ったりする。若者
の熱気にあふれた演技を通して，異文
化に触れ，一同が笑い，心から満足し
て様子が伺えた。自己表現の場が与え
られ，大きな喜びと自信を深める留学
生も多い。出身国が同じ留学生が母国
の文化紹介をするため，母国語で楽し
そうに打ち合わせを行っていた。入学時
のオリエンテーションでは，受動的な
プログラムだけでなく，学生力が存分に
発揮できる能動的なプログラムを企画
することが重要である。

(3) オリエンテーションは精神的・肉
体的な疲れを癒せるような場所で行う
ことが望ましい。ディスクゴルフは誰
でも気楽に楽しめるスポーツで，新留
学生はリラックスし，お互いに初対面
同士とは思えないほどすっかり打ち解
けることができ，大変好評であった。
徳地地域の森は人体にリラックス効果
をもたらすことが実証され，平成18年
に日本初となる森林セラピー基地に国
によって認定された場所であり，新緑
の時期も初秋の時期も自然が大変美
しい。新留学生は出発時に見られた

緊張感からすっかりときほぐされ、旅の疲れを癒し、心のゆとりから穏やかな笑顔を見せるようになった。

(4) 留学生交流ボランティアの日本人学生は留学生の生活の支援をしながら、各自の役割が留学生に喜ばれ、役に立つ存在であることに今まで経験したことのない自信と満足感を感じていた。また、留学生を通して海外の生の情報に直接触れることができ、海外への興味や関心を広げ、やがては自分自身が留学してみたいという夢を抱き始める。日本人学生が海外への関心を深めていくことは、大学の国際化を促進する上で大きな力となる。

(5) 教職員は新留学生に大学のサポートシステムを理解させるだけでなく、個人的な質問にも対応することができた。2日間にわたり留学生と生活を共にすることにより、異文化理解を深め、大学における留学生の受け入れに関する気づきを得ることができた。

7.2 地域の各行政機関との連携

入学時のオリエンテーションでは各地域の行政機関が持っているノウハウを充分に取り入れ、大学と各行政機関が連携し、新留学生が生活に必要な情報を得ることができるプログラムを提供することが肝要である。栖原(2008)は留学生を地域住民として、受け入れるための対策の重要性を指摘している。

(1) 交通ルール・防犯・ゴミ分別について
 国の事情により交通ルールは全く異なる。本国との交通ルールの違いを認識させることは留学生を交通事故から守るうえで極めて必要である。『交通事故防止のために (To escape traffic accidents)』と題した日本語と英語で記載された冊子が配布された。全てのページに挿絵が挿入されているために言葉が理解できない留学生にとっても有用なものであった。挿絵を見るだけでルールが分るようになっている。自動二輪の交通ルールに関しての質問も多かった。どのような質問に

関しても直に的確な回答が得られるため、新留学生の満足度も高かった。プレゼンテーションにも工夫が凝らされ、年々分りやすくなってきた。

山口県警で作成された『POLICE ACTIVITIES HANDBOOK』(日本語・英語・中国語・韓国語)は緊急の際大変役に立つものである。留学生の中には、日本は安全な国であると信じて鍵をかけないで出かける者もいる。大学周辺でおきた空き巣や泥棒の被害についての説明を受けることにより、防犯の意識を高めることができた。

ゴミ分別の仕方を習いながらリサイクルへの関心を持つようになった留学生もいる。ゴミカレンダーも英語版と中国語版がある。留学生にゴミ分別の仕方を教えることにより、住民との不要な争いを避けることができる。

今後の研修会に向けて次のような提案があった。①先輩留学生数の確保を早めに行う必要がある。②多くの日本人学生に国際感覚を身につけさせるために日本人ボランティア数を多くするほうが良い。③ゴミの分析の仕方は来日後直ぐに大学で行ったほうが良い等の意見が出されている。今後検討していくことが必要であろう。

地域の行政機関の協力を得ながら、新たな留学生受け入れ時期に実施される宿泊研修会のもたらす成果は大きく、新留学生はこの研修会を通して、日本における生活の不安を少しずつ取り除くことができ、来日した目的に向かって挑戦していこうという勇気を得、豊かな人間関係の構築に自ら努力しはじめた。

8 おわりに

決められた2日間に盛りだくさんな内容を詰め込まなくてはならない。メンタルサポートを重視しつつ、一つ一つのプログラムをいかにコンパクト収め、詳しい内容についてはホームページで検索できるようにしていき

い。

今後も地域との連携を強化していく予定である。平成20年度後期からは山口市国際交流室にも参加を依頼している。地震の際の予定避難場所や『在住外国人の皆様へ』（2）というパンフレットも配布していただく予定である。

『留学生受け入れ30万人計画』が策定され、各大学において優秀な留学生の獲得に向けての戦略が検討されている。留学生の住みやすい環境作っていくことが重要であるが、大学の努力だけではおのずから限界がある。受け入れ大学が中心となり、地域の各行政機関と連携を図りながら、留学生の生活の質（Quality of life）を高めるために、環境を整備しなければならない。それためには、まず大学主催のプログラムの中に地域の各行政機関が参画できる企画を組み入れることが肝要である。

平成21年度は1日限りの学内での新留学生研修を行うこととなったことは極めて残念なことである。宿泊研修は事前準備に時間がかかるのみならず、休日に教職員が出勤しなければならないなど多くの問題があるが、宿泊研修の意義を改めて再考する必要があると思われる。

（留学生センター 准教授）

【注】

（1） H14年に発足し、「日本語で話そう」「世界の大学を知ろう」「世界の言語と文化を知ろう」などの活動を行っている。

（2） 山口留学生会（古川綾子・荒瀬澄枝他2名）が大学（杉原道子・山口大学、岩野雅子・山口県立大学）と行政機関と協力して作成した『住み良さジャンプアップ共同研究事業—外国人にとっても住み良いまちづくりを進め、多文化共生社会の実現に向けての実態調査・研究』報告書と一緒に作成したパンフ

レットで、日本語・英語版と日本語・中国語版があり、（財）山口県国際交流協会で見られるサービス、山口市で見られるサービス、宇部市で見られるサービスが記載されている。

【引用・参考文献】

- 横田雅弘・白土悟（2004）『留学生アドバイザー—学習・生活・心理をいかに支援するか』ナカニシヤ出版p78, p77
- 重野芳人（2006）「留学生のオリエンテーションの在り方」『留学交流』第18巻第3号, pp14-17
- 栢原 暁（2008）「留学生三〇万人計画」と地域社会『留学交流』第20巻第8号, pp18-21
- 杉原道子・川口真人他6名（2004）『留学生交流ボランティア』山口大学留学生センター
- 古川綾子・荒瀬澄枝・杉原道子・岩野雅子（2008）『住み良さジャンプアップ共同研究事業—外国人にとっても住み良いまちづくりを進め、多文化共生社会の実現に向けての実態調査・研究』報告書
- 杉原道子（2004）「大学に留学生を受け入れることの意味—大学、一般学生、留学生、地域にとっての意味を考える—」『留学生交流・指導研究』Volume 7 国立大学留学生指導研究協議会 pp51-63
- 杉原道子（2000）『「留学生生活実態調査」125名のアンケート分析結果に基づく提言—留学生が作成したアンケートを使用して』『JALT日本語教育論集』第5号全国語学教育学会 日本語研究部会 pp. 50-61

資料1

日程：2008年4月26日（土）・27日（日）
Date: April.26th (Sat) /27th (Sun) , 2008
場所：国立山口徳地青少年自然の家
Place: National Yamaguchi Tokuji Youth Center

日程表 (Schedule)

4月26日 (土) April. 26th (Sat)
 8:45 常盤キャンパス (工学部玄関前) 集合
 (Meeting from Tokiwa Campus in front of
 the Engineering building gate)
 9:00 常盤キャンパス出発
 (Departure from Tokiwa Campus)
 9:45 吉田キャンパス (時計台横) 集合
 (Meeting from Yoshida Campus by the
 clock)
 10:00 吉田キャンパス出発
 (Departure from Yoshida Campus.)
 11:00 徳地 到着 (Arrive at Tokuji)
 11:10~11:30 入所説明会
 (Information about accommodation)
 1:30~12:00 開講式 (Opening ceremony)
 プログラム紹介・交流ボランティア紹介
 (Introduction of the program and volunteers)
 12:00~12:30 山口大学オリエンテーションI.
 (Learning about YU and finding you'r
 way around)
 入管手続き・資格外活動など
 (Immigration Procedures・part time jobs, etc.)
 12:30~13:30 昼食 (Lunch12:30~13:30)
 13:30~14:00 休憩
 14:00~14:50 ゴミ分別のしかた
 (How to dispose of garbage)
 山口市 環境部ゴミ対策課
 15:00~15:40 防犯について
 (Crime Prevention) 山口警察署
 15:40~16:30 交通安全について
 (Road safety)
 山口県警察本部交通部交通企画課
 16:45~18:20 ディスクゴルフ
 (Sport activities)
 (雨天の場合 自由時間) (Free time.)
 18:20~19:10 夕食 (Dinner)
 19:10~20:50 International Night
 歌・ゲーム (Singing and games) 学生有志

21:00~21:50 入浴 (Bath)
 2:00 就寝 (Bedtime)
 4月27日 (日) April. 27th (Sun)
 7:00 起床 (Wake up time)
 7:00~7:45 部屋の掃除・荷造り
 (Clean your room and pack your belongings)
 7:45~8:40 朝食 (Breakfast)
 8:45~9:00 宿舍点検・荷物の移動
 (Checking your room and your belongings)
 9:00~9:30 山口大学オリエンテーションII.
 (Learning about YU and finding your way
 around)
 日本語・日本事情の授業について
 (Japan Affairs and Japanese Language
 courses)
 センター宇部室授業 Ube Campus 経済学
 部・教育学部の日本語の授業
 (Economics Department Education
 Department's Japanese language Courses)
 留学生センター行事 Events
 学生指導・相談 Help and advice
 ホームページ・メールアドレ
 ス (Homepage and Email address)
 9:30~10:10 先輩学生によるパネルディス
 カッション (Panel Discussion by those
 who have stayed longer in Yamaguchi)
 10:20~11:20 グループディスカッション
 (Group Discussion)
 11:30~11:50 終了式 (Final session)
 11:50~12:50 昼食 (Lunch)
 13:00 徳地出発 (Let set out on a tour)
 13:20~14:50 重源の郷散策
 (A Visit to Chogen-no-Sato Village)
 15:00 出発 (Departure)
 16:00 吉田キャンパス着
 (Arrive at Yoshida Campus)
 17:00 常盤キャンパス着
 (Arrival at Tokiwa Campus)
 注意事項 (Notice)

①徳地は朝夕寒くなりますから、あたたかいコートなどを持って来てください。

(Please bring a warm coat or sweater because Tokuji is very cold in the early morning and evening)

②運動しやすい服装とシューズで来てください。(Please wear sports clothes and sports shoes.)

資料2

山口大学留学生センター

新留学生研修会アンケート2008. 4. 27

1. あなたは？

What type of student are you?

(Please circle one) .

- 1) 新留学生New international student.
- 2) 日本人学生Japanese student.
- 3) 先輩留学生Senior international student.
- 4) 教職員Staff.

2. この新留学生研修会は良かったと思いますか。Was the orientation good?

- 1) 大変思うVery good.
- 2) 思うGood.
- 3) どちらも言えないNo opinion.
- 4) あまり思わないNot very good.
- 5) 思わないNot good.

具体的に書いてください。

Please write what things were useful in detail:

3. 研修会で役に立ったプログラムは何ですか?What information was useful?

- 1) 大学オリエンテーションAbout the university.
- 2) ゴミ分別Garbage.
- 3) 交通ルールTraffic rules.
- 4) 防犯Prevention of crimes.

5) 先輩留学生のアドバイスSenior students' advice.

具体的に書いてください。

Please write what things were useful in detail:

4. 研修会で楽しかったプログラム何ですか?What events were enjoyable?

1) インターナショナルナイト

International Night.

2) スポーツSports.

3) 重源の里見学

Visiting the Chogen no Sato Village.

4) その他Others.

具体的に書いてください。

Please write your opinion about fun activities in detail:

5 この研修会の実施場所は良かったと思いますか?Was the location/place of the orientation good?

- 1) 大変思う。Very good
- 2) 思うGood
- 3) どちらも言えない No opinion.
- 4) あまり思わないNot very good
- 5) 思わないBad

具体的に書いてください。

Write what were useful in details.

6 この研修の実施時期は良かったと思いますか? How was the schedule? (time of year, date, times, etc.)

- 1) 大変思うVery good.
- 2) 思うGood.
- 3) どちらも言えないNo opinion.
- 4) あまり思わないNot very good.
- 5) 思わないNot good.

具体的に書いてください。

Please write what things were useful in detail:

7 このプログラムに参加して、勉強になったことや感じたことなど何でも書いてください。日本語・英語・中国語・韓国語でもいいです。

*Please write what you have learned and how you have felt in this orientation in

whichever language you prefer:
Japanese, English, Chinese or Korean:
(記入スペースは省略)

ご協力ありがとうございました。Thank you